

本照寺だより

第107号
厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
(加入者名・本照寺)
発行所
本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438
honshou49@i
.softbank.jp

明けまして おめでとうございます



◆昨年12月8日（日）、午前9時から12時まで、清掃ボランティアとして24人の方々が参加してくださいました。成果は45%ビニル袋150袋となりました。皆さんありがとうございました。m(_ _)m



長いこと格闘していた屋外看板探し。ようやく1つの落としどころが見つかったので、紆余曲折の経緯をお話しします。

●理想の看板はどこだ

本照寺では多くの行事を開催するため、お参りの方にお知らせする屋外看板が欠かせません。イベントで案内板としても使うため、相当な数が必要になります。

そして、何軒もホームセンターに行ってみたり、ネットショッピングでじっくり探してみたり。今まで、いくつかの看板を買っては試してみましたが、安価で、

副住職のDIY奮闘記一屋外看板 編（前編）

元々、資料の掲示はマスキングテープやひつつき虫（ねり消しゴムのような粘着剤）を使っていたが、手間がかかるうえ耐久性が今ひとつ。

- ①低コスト（作る場合は手間も考慮）
- ②お寺の景観に馴染むデザイン
- ③日光や雨に耐えられる丈夫さ
- ④強風でも倒れない安定性
- ⑤掲示物の貼り替えやすさ（マグネット対応）

●看板へ求めるもの
私が看板へ求める条件は次の5つです。

丈夫で、景観を損ねない……そんな条件を満たす理想の看板はなかなか見つかりませんでした。

そこで磁力の強いネオジム磁石を試してみました。貼り替えもかんたんですし、風で飛ぶこともほとんどありません。「⑤マグネット対応」の条件が追加になりました。

●やっぱり良い製品がない

この中でも特に苦労したのが「②デザイン」「③丈夫さ」「⑤マグネット対応」の全てを満たすことです。

低コストで、丈夫で、安定している、「いかにもオフィス用品」という見た目のものばかり。そして、そんな製品は、たいいてい透明パネルで掲示物を挟むタイプのものです。

しかし、これはおススメできません。使っているうちにパネルが日光で黄ばみ、砂埃で傷つくことで掲示物が見えづらくなるためです。長持ちしないので

朝の詩

千葉 雪
船橋市
山本善太 58

雪の朝
向かいの庭からは
ずんだ声が

かあさん これみんな
僕の雪だよね
僕の所にあるんだものね

「そうだよ

みんな君のだよ
良かったら
おじさんの所の雪も
君にあげるよ」

自分のために
兵庫 神戸市
岡本 肇 44

僕の言うことなんか
気にしないで
ありのままの
君でいてほしい
自分のための人生だから
自分が生きていかないと
僕のために

生きることになるんだよ

片腕にそっと
寄り添う君に僕は言う
僕のために
生きるのではなく
僕と一緒に
生きてほしい

20年
新潟市
月岡一治 48

近くにすぎても
見えにくいものがある
しかし鏡の前に並んだ

お前を見ていたら
しっかりと老けていて……

気の毒で
そつと言う
あなただけ年を取らせたら
かわいそうだからって

僕たちの20年
鏡の前から
街へ買い物に出かけて
いく

日曜日の少し遅い朝の
2人の20年
(産経新聞)

味噌田楽

工藤俊逸 71
青森市

8歳の男子の孫に会うため、埼玉県川口市を訪れた。到着したお昼に、近くの蕎麦屋に行つた。
小上がりの席につくと、開口一番、
孫はコンニャクの味噌田楽を食べたいと言った。
えっと思つて訳を聞いたら、パパと一緒にこの蕎麦屋に来たときは、必ず味噌田楽を頼んでいたから、と答えた。



俺が面倒をみるから、安心して、と味噌田楽の串のひとつを取って、コンニャクをかじった。
(産経新聞)

令和7年 明けましておめでとうございます 本年もよろしく お願い申し上げます



お仏壇差し
上げます。
某家が引つ越すため不要となりました。
どなたか必要な方、お使いください。
(ケヤキ製。丈170センチ)

須藤教裕 (きょうゆう・66)

貴裕 (きゆう・40)
由子 (よし・38)

慧磨 (けいま・9)

燈あかり・7

★今年も墓参用の花をご用意していただきます。15彼岸は203日です。



まごころ込めて

ご埋葬
おまかせください
埋葬料 11,000円
宇彫代 38,000円

お墓のすべて
ご相談ください
●花立交換 ●メジ修理
●砂利交換 ●耐震化……

本照寺様 出入り石材店
株式会社イシックス
0120-011140

強制労働のもと サービス残業をする日本人

前号から続く

シベリア抑留

これは語るも涙、聞くも涙の悲劇の話なんです。第二次世界大戦の後、中国満州にいた日本人が57万人以上、ソ連軍に逮捕されてシベリアで抑留され、強制労働をさせられました。あまりにもひどい境遇で働かされた結果、57万人中、5万8千人が死んだのです。

■ウズベキスタンという国は中央アジアで当時旧ソ連の一部でしたが、この国でも日本人の抑留者たちが橋を架け、道路、工場、発電所、運河や学校、そして劇場を作ったんです。そして素晴らしい劇場があると聞いて私、ウズベキスタンまで見に行ったんです。感動しましたね。ナボイ劇場です。

現地の人々が教えてくれたんですが、敗戦国だから日本とドイツとイタリア人がいるわけです。

ドイツやイタリアの人たちは結構怠けてばかりだったと言っていました。でも分かる気がします。金のために働いている人は、金出なかったら手抜きしますよ。でも日本人って「お前、金のために働いてんのか？」って言われ

れたら、何か気分悪いですよ。いやいや、やり甲斐があるから仕事してるんだって言いたいんですよ。日本人ってやはりお金だけじゃなく、生き甲斐ややり甲斐を感じて仕事しますから。強制労働でお金出なくても、「手抜きしよう」とはならず、手抜き無しで素晴らしい劇場を作ったんです。強制労働下で、これ日本人だけだった訳です。

■私、地元の人に聞きましたら、当時大人たちは子供を教育する時、「いいか、将来日本人のような立派な大人になれ！」と言って教育されたと言います。スゴイ話で、もう私、感動しました。

本当かなと思つてちよつと盛ってるんじゃないかなと思つて、ウズベキスタン人、現地で会う人みんなに聞いたんです。「こういう

話を聞いたのですが本当ですか？」と。そうしたら全員が本当だと言っていました。「自分も小さい時にお父さんから、『将来日本人のようになれ』』と言われて育ったという人もいましたし、今自分の子供にもそう教えていると言っている人もいました。「将来、日本人のような立派な大人になれ」、これがウズベキスタンでは今も教育の合い言葉になっているんです。

■とてもひどい環境だったはず。ウズベキスタンだけでも2万5千人中、813人が死んでいるんです。ナボイ劇場造るだけでも500人中、60人が死んでいるんです。

地元の人が気の毒がつて、「これ飲んでください、これ食べてください」と言つてみんな差し入れをしたそうです。

日本人は無傷で残った劇場を見て「日本人は手先が器用で仕上がりがきれいとか、そんなものではない。日本人の本当の凄さは、目に見えない所まで手抜きが無かった」と言っています。「柱の中、壁の中、基礎工事、目に見えない所まで手抜きが無い。日本人の凄さは、目に見えない所にあるんだ」ってことが分かったらしいんです。

■中国大陸から57万人以上連れて去ったわけなんです。そこには軍に所属する工兵さんもありました。建築士もいれば土木技師もいたし、左官工の人とか、電気工事

編集後記

▼昨年12月10日、令和4年度のOECD「国際成人力調査」の結果が発表された。世界31カ国の16〜65歳の成人16万人を対象に実施し、平成23年度に続き2回目の調査となる。「読解力」「数的思考力」「状況の変化に応じた問題解決能力」との3項目の成績結果は、前回3項目全てが1位だった日本だが、今回は3項目全てが2位となり、1位は全てフィンランドとなった。文部科学省は「博士課程修了者など高学歴者の多いフィンランドの高得点層が増えた」とした。前回は24カ国での調査でフランス22、スペイン23、イタリア24が成績下位となった。日本人の凄さを、左記で実感してほしい。

また時間になったら「はい終わり」と言つてドイツ、イタリア人はみんな帰って行くのに日本人だけ「ちよつとキリが悪いのでここだけさせてください」と言つて残業していたと言います。強制労働ですよ？ 強制労働でサービス残業ですから日本人、凄かったんです。

それで立派なナボイ劇場が出来るわけなんです。地元の人がそれを見て感動したらしいです。「さすが日本人。やはり日本人の造るものは何か違う」と言つて皆で大切に愛でて使ってくれたんです。

や溶接できる人もいます。プロの目から見ても「これ少しまずいな、地震が来たらここパタツといつちやう」などと、設計図面を見てアラが見えるんです。そこで彼らは上司のソ連人と喧嘩までして設計の変更を求めたつて言っています。

「誇りに思う」と当時の抑留者

■強制労働ですよ？ これは4本ではなく8本なくてはだめとか、ここは斜めに組まないとパタツといつてしまふとか。どうしたらいいものができるか、

皆で知恵を出し合つてみんなで努力したつて言うんです。これが日本人のモノづくりなんです。

■昔、朝日新聞にナボイ劇場の特集が書かれていました。実際にウズベキスタンで強制労働に従事したおじいちゃんにインタビューしてるんです。そうしたらそのおじいちゃん、何と答えたと思いますか？

「私は誇りに思う」と言うんです。「あんな古い昔の時代に造った建物を、今でもウズベキスタンの人が大切に使ってくれていると思うと、そういう歴史的な建物を造るのに参加することができて私は誇りに思う」と。

強制労働ですよ？ 仲間いっぱい死んだんです。打ちたたれ働かされたんです。毎晩凍えながら過ごしたんです。

日本人ってスゴイ！

■いやこれ、どこかの国だったら賠償金よこせとか、抑留者像を造つたりするのではないかなと思います。

日本人はあんなひどいことをされながら「誇りに思う」と。いや、凄いですね！これが日本人の仕事に対するモノの考え方なんです。



■竹田恒泰（つねやす）。昭和50年生まれ。明治天皇の玄孫（やしやこ）で、今上天皇（徳仁・なるひと）とは親戚（三従兄弟）にあたる。東京都港区にて出生。慶應義塾大学法学部法律学科で環境学を専攻して卒業。『語られなかった皇族たちの真実』若き末裔が初めて明かす『日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか』他…著書多数。

決して手を抜かない日本人の「働く」心

「日本人は本当に凄い！」

■しかし18年後に大地震が起きました。普段地震が無い国です。耐震構造なんか無いのです。ほとんど全部ぶっ倒れたらしいんです。見渡す限り瓦礫の山です。

しかし一棟だけ無傷で残った建物があったんです。それがナボイ劇場です。日本人が建てた建物だけが無傷で残り、避難所として使われたんです。現地のウズベキスタ